



- 調査実施日 2014年1月12日
 - 調査場所 カヤオ市アンコン区的一般家庭
 - 調査対象 ヨルディ（仮名）さん一家
- 現地通貨ヌエボソル（通称ソル 1米ドル=2.8ソル・2014年1月現在）



ヨルディさん一家



家族	祖父（75歳） 祖母（76歳） 夫 ヨルディ（仮名）さん（38歳） 妻（36歳） 長女（19歳） 長男（16歳） 次女（14歳）
世帯収入	月額1,500ソル
職業	庭師（夫）、家政婦（妻）
休日	不定期（夫）、不定期（妻）
出身地	アンカシュ州カラス郡

妻の姉妹が協力して5年前に購入した現在の土地に2年前家を建て、施設の整った医療施設での治療が必要な父親の病気をきっかけに、郷里アンカシュ州山間部の実家を引き払い、家畜などの財産をすべて手放して両親を引き取った。しかし、夫婦と3人の子供たちはリマ市内にある職場や学校が自宅から遠く、通勤・通学の交通費が嵩むことから、平日はリマ市内にある親族の家に身を寄せ、週末に実家に戻る暮らしを強いられている。自宅の留守を守るのは祖父母である。

ヨルディさん（38歳）

職業 庭師、現在はイカ州の農場で出稼ぎ中
月収 750ソル

趣味は？
生活で手一杯。

休暇の過ごし方は？
出稼ぎの仕事が終わり、実家に帰ったら、家族と外食でもしてゆっくり過ごしたい。



よく使う交通手段は？
三輪バイク、乗合バス

買い物スポットは？
リマに住んでいても、大半は親族の家に間借り状態なので、必要最小限のものを伝統市場で買う。食材や日用雑貨の買い物は妻に一任。

今欲しいものは？
家の内装や外観をきちんと整えたい。

妻（36歳）

職業 家政婦
月収 750ソル

休暇の過ごし方は？
家の修繕などすることが多い。姉妹家族が泊りがけに遊びにきて、にぎやかに過ごすことも。

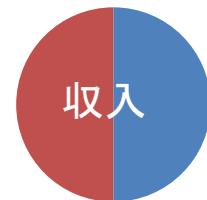
趣味は？
とくにない。



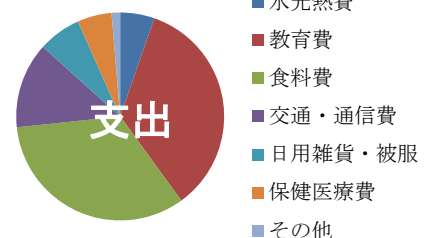
よく使う交通手段は？
三輪バイク、乗合バス

買い物スポットは？
日用雑貨や食品などは近所の伝統市場で購入する。スーパーマーケットは特売品があってもトータルでは割高になるので利用しなくなった。

今欲しいものは？
自宅の屋根にトタンか瓦で仕上げたい。



■ 夫収入
■ 妻収入



住居 平日は親族の家で生活。祖父母が留守を守る



平日はリマ市内の親族宅に間借りする夫婦と3人の子供にかわり、普段の自宅の留守をまかされているのはアンデス山間部アンカシュ州出身の妻方の両親である。現在でも基幹インフラの整備が進まない同地域の生活に慣れ親しんだ両親にとって上水道の利用制限や下水道の未整備であることは苦にならない。家電は週末の家族団らんを演出するテレビやDVD、電動の調理器具はミキサーのみ。電子レンジは故障したままで、冷蔵庫は購入すら考えていない。近代化の途上にあつて世代間や都市部と農村部の生活スタイルのギャップが感じられる興味深いケースといえる。

所有の有無	所有
間取り	平屋建て、寝室3、居間・食堂・台所
広さ	敷地面積 200 m ² 、総床面積 50 m ²
居住年数	2年
電気	30 ソル/月 隣家とシェア
上水道	10 ソル/月 隣家とシェア
下水道	生活域に下水道インフラが未整備
ガス	ボンベ交換式。42 ソル/月
電話	携帯電話 15 ソル/月×3
インターネット	未整備
ケーブルTV	未整備

テレビ	中古
冷蔵庫	なし
洗濯機	なし
ガスコンロ	中古
ミキサー	中古(国産)
ステレオ	なし
DVD	中古
電子レンジ	中古(ただし、故障中)
アイロン	なし
PC	なし
自動車	なし



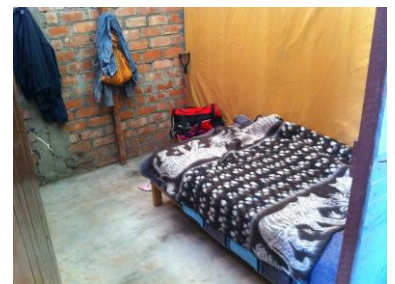
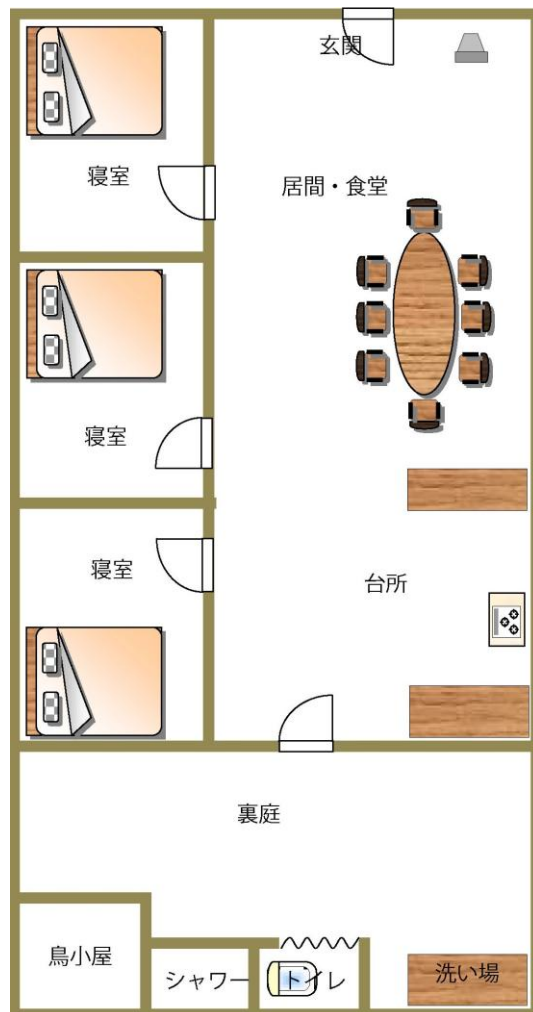
生活域の上水道タンクは住民組合で管理。1日2時間ほどしか水道は使えない



海岸線に広がる町並み。街灯が整備されている。電気インフラの整備は最も早い。



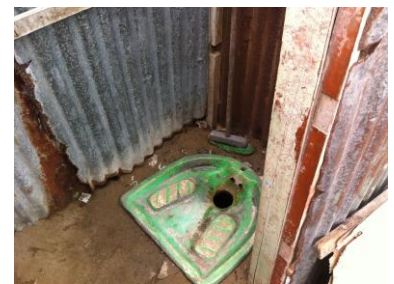
手前が居間・食堂。食器棚を隔てて台所。屋根はバナー広告を流用している。



3つある寝室のひとつ。ここは留守を預かる祖父母が寝泊りするスペース。



裏庭に設けられた流し場。ここで食器洗いと洗濯の両方をこなす。下水は庭にまくだけ。



生活域に下水道がないため、地下に穴を掘ったアーストイルを使用している。

週末には親族が集まりご馳走を作る

妻に、間借りしている親族の家での食事のパターンについて伺った。発注ベースの庭師や家政婦といった不定期な職についている夫妻にとって、朝食時間は決まっていない。また、中学校や専門学校に通う子供たちも通学時間が異なるため、朝食を家族一緒にとる習慣はないという。

朝食の中身はシリアル入りの牛乳、パンにマーガリン、ハムとチーズ、コーヒーや紅茶など。

1日2交代制をとる公立の中学校に通う次女と長男は午後の授業を選択しているため、自宅で昼食をとってから通学する。両親は共働きのため、子供たちの昼食は前日の夕食の残りのが多いという。

朝食・昼食とばらばらの家族が食卓を囲むのは夕食である。ペルー人は一般的に夕食はロンチェといって軽食で済ませる傾向が強いが、クルス一家は仕事帰りの妻が作る自慢の家庭料理である。

翌日の昼食や夫の弁当にもなる夕食の定番は、鶏肉だしの野菜具沢山のスープ、これにライスを加えた鶏肉のシチュー(エストファード・デ・ポヨ)や大豆の煮豆またはペルーで最もポピュラーな人気メニューであるアロス・コン・ポヨ(コリアンダー風味の鶏肉の炊き込みご飯)などである。

取材した日は休日だったため、妻方の姉妹家族が自宅に集まり、前出のアロス・コン・ポヨの別バージョンであるアロス・コン・パト(アヒル肉の炊き込みご飯)を親族総出で作った。アヒルは自宅で飼育している一羽を捌いたもの。スープもあわせ調理時間は悠に3時間かかり、質素ななかにも家族と美味しいものを分かち合いたいという素朴な気持ちが伝わった。



上:市販の食器棚には調理スペースが設けられている。スープ用の野菜を一口大に切っているところ。右:隣家との境に設けられた洗い場。食器洗い、洗濯のほか、米研ぎもここでやる。使い終わった汚水は庭にまく。この日は断水で水を節約した。



上左:調理スペース。左に基本調味料。奥に食器類。手前に買ってきた野菜の袋が見える。上右:ポピュラーな前菜であるポイルドポテトのトウガラシクリーム添え「パパ・ア・ラ・ワンカイーナ」作り欠かせないミキサー。貴重なビタミン源のジュース作りにも大活躍



上左:ガスコンロは国産の中古を購入。残念ながら値段は覚えていなかった。オープン機能は故障中。上右:台所の隅に置かれたガスボンベ。ほぼ月1回ごとに交換する。デリバリー業者が電話で注文すると届けてくれる。ホースは耐熱性ではない安物を使っており、事故が起きるリスクが高い。また、子供の手が届くことも気がかりだ。



定番料理を作ろう

ある日曜日、留守を守る祖父母のもとに4人の娘一家が泊りがけで遊びに来てご馳走を作ることに。定番料理アロス・コン・パト(アヒル肉入り炊き込みご飯)。裏庭で飼っているアヒル1羽を捌き、食べやすい大きさに切って強火で炒める。別なべで香味野菜をじっくり炒めたら、肉とあわせ黒ビールと水を注いで煮込み、研いだ米を入れて、水気がなくなるまで炊くと出来上がり。付け合せにタマネギスライスの酢漬け、前菜は前出のパパ・ア・ラ・ワンカイーナ。美味しい料理が親族の団欒を演出した。



タイムテーブル 平日

	ヨルディさん	妻	次女
5:00	(リマで仕事があるとき)	起床	
6:00	起床、朝食	出勤(仕事がある時)	起床
7:00	出勤	家政婦の仕事は不定期のため	
8:00		決まった時間割がない	
9:00			勉強など
10:00			
11:00			昼食の準備
12:00			昼食
13:00	弁当	賄い飯(仕事がある時)	登校
14:00			
15:00			
16:00			
17:00			
18:00			
19:00		帰宅(仕事がある時)	帰宅
20:00	帰宅	夕食の準備	夕食の準備の手伝い
21:00	夕食	夕食	夕食
22:00	就寝	就寝	就寝

休業日(日曜日)

	ヨルディさん	妻	次女
8:00			
9:00	起床、朝食	起床、朝食	起床、朝食
10:00			
11:00	家の修繕など	家事	親族と遊ぶ
12:00			
13:00			
14:00			
15:00	昼食	昼食	昼食
16:00			
17:00	家の修繕など	家事	親族の子供の世話
18:00			
19:00	テレビを見る	夕食の準備	夕食の準備の手伝い
20:00			
21:00	夕食	夕食	夕食
22:00			
23:00	就寝	就寝	就寝

取材ノート:ペルーでは、人口の 1/3 が集中するリマ首都圏では仕事に就けない人が多い一方、沿岸部を中心とした地方都市近郊の農場では、農作物の収穫時期に季節労働者を大量に必要とするため、都市部から地方に働きに行く人も多い。今回の取材対象のヨルディさんは取材時に自宅不在だったため、自宅訪問とは別の日に写真撮影と聞き取り取材を行った。また、郷里の地所や財産などをすべて引き払い、父の病気療養もかねて現在の住所に自宅を建てたものの、職場や学校から遠く交通費が嵩むことを理由に、家族5人が平日は親族の家に間借りする生活を強いられており、夢のマイホームが実現したとしても、安穏な暮らしが約束されているわけではない。しかし、上水道の濁水、下水道の未整備など不便なものともせず、週末には姉妹家族が集って、賑やかにご馳走を作って、楽しく談笑する大ファミリーの姿には、貧困層につきまとうネガティブなイメージは微塵も感じさせなかった。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。